地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通ネットワーク計画に基づく事業）・案

（別紙1）

平成26年　4月　　日

協議会・構成員　熊谷市地域公共交通会議

（構成員は別添名簿のとおり）

事業名	補助対象 事業者等	事業概要	①事業実施の適切性		②目標・効果達成状況		③事業の今後の改善点
記載要領	【事業者名及び系統名・航（空）路名・施設名等を記載】 ※評価は運行系統、離島航（空）路、施設等の別ごとに実施すること	【運行（航）区間、整備内容等を記載（陸上交通に係る確保維持事業において、車両原価償却費等国庫補助金の交付を受けている場合は、その旨を記載）】	A・B・C評価	【計画に位置付けられた事業が適切に実施された（されている）かを記載。計画どおり実施されなかった（されていない）場合には、理由等記載】 記載例①: 計画どおり事業は適切に実施された。 記載例②: 災害により運航できない期間があったが、事業は概ね適切に実施された。	A・B・C評価	【計画に記載した定量的な目標数値と結果を記載する。結果が目標を達成できなかった場合は理由等を分析の上記載】 記載例①（確保維持事業）: 目標30人／日に対して、15人／日であった。（目標を下回った理由等を併せて記載） 記載例②（改善事業）: 年間利用者1,000人の利便性の向上が図れた。	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載（改善点は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載すること）】 ※　なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨を記載
陸上交通に係る 地域公共交通確保維持事業 （地域内フィーダー系統）	事業者名：国際十王交通株式会社 運行系統名：江南地区路線「ほたる号」	【概要】一般乗合旅客自動車運送事業 【運行日】平成23年10月1日運行開始。毎日運行。ただし、1月1日から1月3日まで運休。 【運行時間帯】6：20～20：22 【運行本数】1日6往復 【運行ルート】江南行政センター～熊谷駅南口～江南行政センター～籠原駅南口～江南行政センター 【運行車両】ノンステップバス1台※国庫補助金「車両原価償却費等」あり 【運賃】（1）1回の運賃　100円（2）1日乗車券　300円（3）運賃の免除について　未就学児、障害者手帳（3種）所持者及びその介助・付添人1人、運転免許を自主返納した70歳以上の市民	A	計画どおりに事業は適切に実施された。	A	【利用者数】 《目標》 平成25年度（H25.10.1～H26.3.31） 6ヶ月間10,500人 1便（往復）当り9.7人 《実績》 平成26.3月末時点 （H25.10.1からH26.3.31まで、179日間1,074便運行） 6ヶ月間　　人 1便当り　　人 （参考）10.1から11.30まで、 （61日間・366便）5,873人 1便当り　16.0人 《考察》 平成25年3月末時点の乗車人数は12,689人で、1便当りの乗車人数の実績が11.8人であった。	【既に実施した利用促進策】 ・「江南地区路線」の愛称、イラストを公募し、新規車両の納車に合わせ、ラッピングを施工した。 【今後の改善点】 ・江南地区の地元自治会と一緒に周知を行う。

【各評価項目の評価基準】

①事業実施の適切性

A…事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された（されている）。
B…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった（一部実施されない見込み）。
C…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった（実施されない見込み）。

②目標・効果達成状況

A…事業が計画に位置付けられた目標を達成した（する見込み）。
B…事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった（一部達成できない見込み）。
C…事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった（達成できない見込み）。